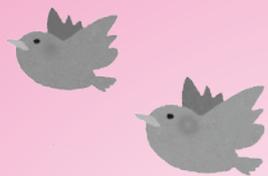


平成二十五年 度

わが家の  
すこやか日記



泣いたり笑ったり、時にはおこったりと子育ては日々ドラマの連続です。家庭教育啓発冊子「わが家のすこやか日記」は、家族のふれあいや子育てに関するエピソード等、お寄せいただいた作品のうち、三十二作品を冊子にまとめたものです。

子どもから御家族の皆様よりお寄せいただいた作品には、家族への愛情や感謝、温かい心と心の通い合い、それぞれの家庭のルールなど、すばらしい家族模様が描かれています。

この冊子を通して、子育て中の方はもちろん、多くの方に、子育てのすばらしさや、家族の絆の大切さなどをお届けできたらと願っています。

まずは、各作品をじっくりと味わっていただき、それぞれの家族の様子や思いを心で感じ取っていただきたいと思います。

そして、御家族や御友人と、感想を語り合ってください、そこから、それぞれの御家庭のアイデアあふれる新たな取組が始まることを期待しております。

## ★こんな活用方法は いかがでしょうか。

- わが家のルール等について、親子で語り合う際の話題として
- 子育て広場等の親子が集まる場で、子育てについて語り合う際の資料として
- PTA主催の懇談会など、保護者同士が家庭教育について語り合う場での資料として
- 「親育ち応援学習プログラム」を使った学習講座の資料として
- 道徳・家庭科等の授業などで活用する資料として
- 各種研修の要項・会報等にコラムとして

# ● 幼児・児童・生徒の部

- ★ (1) ママのて
- ★ (2) ぼくはくすり
- ★ (3) 大好きだったおじいちゃん
- ★ (4) お母さんのごはん
- ★ (5) 大きなあいさつ
- ★ (6) みんなでぎゅうつ
- ★ (7) おじいちゃん今日何食べた
- ★ (8) 誕生日
- ★ (9) 母の愛
- (10) わたしのおにいちゃん
- (11) あんなのおうち(愛奈のおうち)
- (12) たのしいおふろ
- (13) なきむしだったぼく
- (14) 家族にありがとう
- (15) おふる
- (16) 家族でうれしかったこと発表
- (17) 姉妹公平に見てくれた母
- (18) ぼくの家族のお母さん
- (19) うれしかった

備前市立伊里小学校	第一学年	勝田直仁さん	5
里庄町立里庄西小学校	第一学年	水本恵也さん	6
倉敷市立玉島小学校	第一学年	小川拓也さん	7
新見市立高尾小学校	第二学年	古田小桜さん	8
新見市立高尾小学校	第四学年	西村珠梨弥さん	9
矢掛町立矢掛小学校	第五学年	室萌花さん	10
里庄町立里庄西小学校	第六学年	水本悠里さん	11
県立瀬戸南高等学校	第一学年	時信沙織さん	12
県立瀬戸南高等学校	第二学年	大槻真澄さん	13
伊里認定こども園		勝田和香菜さん	14
岡山市立旭電幼稚園		井野愛奈さん	14
井原市立井原小学校	第一学年	武部睦生さん	15
倉敷市立玉島小学校	第一学年	宮地佑典さん	15
津山市立阿波小学校	第二学年	草苺奈々美さん	16
鏡野町立大野小学校	第四学年	山内道善さん	16
倉敷市立赤崎小学校	第四学年	川内俊輔さん	17
倉敷市立第五福田小学校	第五学年	藤内菜々さん	17
浅口市立金光小学校	第六学年	友原諒人さん	18
浅口市立金光小学校	第六学年	福武由起さん	18

★は、優秀作品として選ばれた作品です。  
ページ

(20) あいさつ

久米南町立神目小学校

第六学年

藤原優希さん

19

(21) わすれないおんぶ

美作市立美作北小学校

第六学年

佐藤玲菜さん

19

(22) 優しい嘘を

美作市立作東中学校

第一学年

岩本美咲さん

20

(23) 母の応援

県立井原高等学校

第一学年

森澤奈月さん

20

(24) 手紙

県立瀬戸南高等学校

第一学年

小谷清美さん

21

(25) 母がいない半月間

県立瀬戸南高等学校

第一学年

尾森南々さん

21

(26) 夕食

県立興陽高等学校

第一学年

上野愛奈さん

22

(27) せまい食卓

県立井原高等学校

第一学年

岡田幸恵さん

22

(28) 寝たふり

県立興陽高等学校

第一学年

榎村咲白合さん

23

(29) 一七年間の足跡

県立倉敷工業高等学校

第三学年

多田隼人さん

23

● 一般の部

★ 思わぬ出来事

(30) ステキなプレゼント

倉敷市

稲岡勝美さん

25

(31) わたしのたからもの

鏡野町

奥典永さん

26

(32) わたしのたからもの

津山市

豊岡慶子さん

26

● 特別賞

優秀学校賞 津山市立阿波小学校

美作市立美作北小学校

27



幼児・児童・生徒の部

◆手も心もぽかぽかで賞◆

ママ

ボクのママはとぎとぎやまだであるにしません。そんなひはママのかわりにしもうこのてをにきいてあげてねます。おにしちゃんなんだからママのかわりをしかりになくしちゃーでも、ほんとはボクもさみじいとまがあります。ママがうるちるは、ママがまたなかでかわのじでてをうならでねます。ママのては、じつてもあつたかいです。



備前市立伊里小学校 第一学年 勝田 直仁さん

審査員より

妹さん思いの優しいお兄ちゃんですね。直仁さんの優しさ、そしてママの温かさや優しさが伝わっている作品ですね。

◆ぼくは「元気なこ」で賞◆

ぼくは元気なこ

ぼくは、おばあちゃんのおまわりなんだって。おばあちゃんがちゅうしがわるいとまに、おみま  
いに行くよ。「はじやがまたから元氣になったわ。」と言っ。ぼくに会うと元氣になるんだって。  
だからまよしもおばあちゃんのおまわりに行く。まよと元氣なこぼくさかひ。



里庄町立里庄西小学校 第二学年 水本 恵也さん

審査員より

恵也さんの成長を何より楽しみにしているおばあちゃんと、おばあちゃん思いの恵也さん、家族の絆の強  
さを感じます。これからもおばあちゃんを大切にしてください。

◆ずいとおじいちゃんとなかよしで賞◆

大すきだったおじいちゃん

ぼくがようちえんするとき、大すきだったおじいちゃんがびょうきで、なくなりました。おじいちゃんはぼくとよくあそんでくれて、なかよしでした。ぼくが何をしてもわらって「たっくんはええこじゃなあ。」と言ってくれました。今、ぼくは、おじいちゃんのをいえにいくと、ぶつだんのまえではんにやしんぎょうをよみます。ロウソクの火はおねえちゃんがつけてくれます。おじいちゃんが今でもぼくを見まもってくれているからです。ぼくもまぶいあそぶやさしいおじいちゃんになりたいです。



倉敷市立玉島小学校 第二学年 小川 拓也さん

審査員より

優しくったおじいちゃんのおい出が拓也さんの中で大切な宝物として生き続けています。天国のおじいちゃんは何より喜んでほしいです。

◆お母さんのごはんは最高で賞◆

## お母さんのごはん

わたしはお母さんの作ったごはんがとっても大好きです。レストランで食べるのも好きだけど、やっぱり、お母さんが作ったごはんの方が安心して何はいつでも食べられます。家で家族そろって食べるのが楽しいわ。



新見市立高尾小学校 第二学年 古田 小桜さん

### 審査員より

お母さんのごはんを通じて、お母さんと家族への大きな愛情が伝わってきます。小桜さんも将来、こんな素敵なお母さんになってくださいわね。

◆あらしがすしきじゅびくんと賞◆

大きなあらし

わたしは、毎日学校から帰ると工場の中へ、入って「かえったけー。」と大きな声でいいます。なぜかというと、工場に入ると機械の音が大きくて、お父さんは、わたしが、帰ったことが、わからないからです。おもいっきり、その日一番の大きな声を出します。わたしが帰ったことが、わかると、お父さんは、左手をあげてくれます。たまに手もふってくれます。その時は、ちよっとうれしいです。



新見市立高尾小学校 第四学年 西村 珠梨弥さん

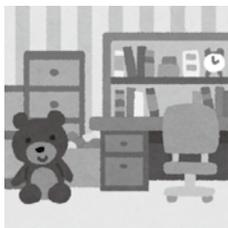
審査員より

帰宅を告げる珠梨弥さんを迎える左手に、お父さんの珠梨弥さんに対する愛情を感じます。いつまでも今のままの素敵な親子の関係を続けてくださいね。

◆ぎゅっつとぴったりーハッピーで賞◆

みんなでぎゅっつ

私は五年生になって自分の部屋ができた。あこがれだった自分の部屋だ。夜はベッドで一人であるようになった。けれど、今年の夏は暑かったので、夜はエアコンのきいた部屋に家族みんなで布団をならべてねた。一つの部屋に家族五人分の布団をならべると、ぎゅっぎゅっつめだ。でも、なぜかこのぎゅっぎゅっ感が心地いい。お父さんのいびきがどんなにうるさくても、ねぞうの悪い弟の足が顔にのっかっても私は、家族みんなでねれるのがうれしい。今はすすしくなっていて、自分の部屋で一人でねているけれど、また、時々家族みんなでいっしょにねたいな。ぎゅっつとなつて。



矢掛町立矢掛小学校 第五学年 室 萌花さん

審査員より

家族が一緒にいることの幸せさ。当たり前のように一緒に暮らす家族ですが、改めて、その大切さが伝わってきます。その絆の前では、いびきも寝相の悪さすらも安心感になりますね。

◆これから毎日電話で話しま賞◆

おじいちゃん今日何食べた

夜九時になると毎晩必ずすることがある。それはおじいちゃんへ電話をすることだ。去年おばあちゃんがなくなつてから、毎日続いている。毎晩決まって「おじいちゃん今日何食べた。」と聞くのだ。今まで何もしたことがなかったおじいちゃんが、毎晩でちそつをして食べている。そして遊びに行くのと私たちにうでをふるってくれるのだ。おじいちゃんこれからおいしいものをたくさん食べて長生きしてね。



里庄町立里庄西小学校 第六学年 水本 悠里さん

審査員より

離れて一人で暮らすおじいちゃんにとって、悠里さんの電話は何よりも大切なことだ。これからもおじいちゃんの元気のために、優しい電話を続けてくれたらね。

◆この家に生まれてよかったで賞◆

## 誕生日

毎年誕生日に母と話す会話がある。生まれた時の話だ。母は私たち三人兄弟の生まれた時間やグラム、おなかの中にいた時のことを細かく覚えていて。「自分の子なんだから当たり前。」と笑うが、私はまだよく分からない。でも、こういって話は何度聞いてもあきず、自分に自信が持てる。この家に生まれてよかったと心から思う。

私の目標は両親のような人になることで、自分にも子どもができれば、誕生日には生まれた時の話をしようと思ってる。



県立瀬戸南高等学校 第二学年 時信 沙織さん

### 審査員より

お母さんが語る出産のお話には、子どもたちの成長を喜ぶ気持ちがあふれているようです。本当に素敵な御家族ですね。

◆母の愛に感謝で賞◆

母の愛

なかなか旅行に連れて行ってくれなかった母が、急に旅行に行こうと言ってきた。私の家は母子家庭で、母は体が弱くあまり働けていないので、お金があまりないため、旅行なんてめつたに行けない。だから普段、旅行に行きたいなんて言わないようにしていた。なぜだろうと思いきって理由を聞いてみると、「あんたにはいろいろと迷惑や苦労をかけてるし、勉強も頑張ってるからご褒美のつもり。」その言葉を聞いて泣いてしまった。母がこんなことを考えていたなんて思いもしなかった。あまりにも嬉しくて涙が止まらなかった。母の愛を強く感じた。



〔補足説明〕

子どもの時間は短く、みなすべに大人になってしまふ。だから今だけの時間と思ひ出を大切にしていきたし。そして、育ててくれた親に、今度は自分から恩返しをしたい。

県立瀬戸南高等学校 第二学年 大槻 真澄さん

審査員より

真澄さんをお母さんの気持ちと、それに感謝する真澄さんの気持ち。互いを慈しむ思いが伝わります。この思いを大切にお母さんに負けない素敵な人に成長してください。

## わたしのおにいちゃん

おにいちゃん、ゴメンね。わたしがごわしちゃったのに、おごられたくなくて、おにいちゃん  
のせいにしたわたしを、「ボクがやった。」ってママにかおをまっかにしていってくれた。ない  
てるわたしに「もう、なくな。」ってあたまをなでてくれた。おにいちゃん、ゴメンね。だいす  
きだよ。

伊里認定ごども園 勝田 和香菜さん

## あんなのおうち(愛奈のおうち)

あんなのおうちでは、ママがおじいごとがんばっています。あは、はやくおきて、  
おべんとうをつくっています。よるは、おかたづけして、おねえちゃんのべんまき  
うをみています。あんなはえほんをそばでよんでねます。

〔補足説明〕

お母さんの知らない間に、自分でこんなに文を書いていたなんて！うれしかったよ。



岡山市立旭竜幼稚園 井野 愛奈さん

## たのしいおふろ

わたしはおふろに、おかあさんとあおいちゃんといっています。きょう、あったことやたのしかったことを三人ではっぴょうをします。しゅくだいでまちがえたもんだいがあると、おかあさんがさんすうのもんだいを出してきて、こたえます。もぐりっこをしたり、水でっぼうをしたりしてあそんでいます。それがまい日のたのしみです。それがあから、つぎの日学校でがんばれます。

〔補足説明〕

あおいちゃんほふたこのおねえちゃんです。まい日、なかよくあそんだり、けんかをしたりしています。

井原市立井原小学校 第一学年 武部 睦生さん

## なきむしだったぼく

ぼくは二年生になりました。でも、ようち園のころは、毎日毎日朝なっていました。ようち園についても、なかなかおへやに行けませんでした。それは、おかあさんとはなれるのが、とてもさみしかったからです。いつも、おかあさんは、ぼくの手をつないで、にこにこしたかおで、いってらっしゃいとおくってくれました。おかあさんは、ぼくが、ちゃんと小学校へ行けるかしんばいしていたそうです。おかあさんありがとう。ぼくこんなに大きくなったよ。

倉敷市立玉島小学校 第二学年 宮地 佑典さん

## 家族にありがとう

私のお母さんは、朝早くから夜おそくまではたらいでいます。土曜日もときどきごとについています。どんなにつかれています、私たちのごはんを作ってくれます。洋服にアイロンをしたり、あしたのじゅんびをしてくれます。でもなかなか、ありがとうと言えません。なので、おかあさんのたん生日や母の日には、ひごろのありがとうの気持ちを、たっぷりつめた手紙をおくります。お母さんは、「なかなかありがとう。」と言ってくれます。これからお母さんにありがとうの手紙をかいていきます。

津山市立阿波小学校 第三学年 草苅 奈々実さん

## おふろ

ぼくは四人きょうだいです。ぼくたちは四人でおふろに入ります。おふろに入る前には三才の弟を必ずみんなで洗います。ぼくたちのなかでは、その洗う役が決まっています。上の妹は、おしりを洗う役です。下の妹はせなかと足を洗う役です。そして兄であるぼくは、おなかと手を洗います。あと、じゅうようなかみは、みんなで協力して洗います。ぜんぶ洗い終わると、弟はにっこり笑顔でぼくほこしありがとうございます。四人きょうだいで入るおふろは最高に楽しいです。

鏡野町立大野小学校 第四学年 山内 道善さん

## 家族でうれしかったこと発表

家族でごはんを食べるときに平日のときはいつもうれしかったことの発表をしています。そうするとごはんを食べるときがとても楽しく、ごはんがとてもおいしく感じられていつも楽しむことができます。これからもつづけていきます。



倉敷市立赤崎小学校 第四学年 川崎 俊輔さん

## 姉妹公平に見てくれた母

わたしが、姉妹ゲンカをして妹を泣かしてしまっただけとお母さんは、わたしをせめずに二人の言い分を聞き二人ともおこってくれます。しんけんに話を聞いてしんけんにかつてくれました。しかられるのはいやだけど、どつしてケンカになったのがわかって仲なおりできました。こんなお母さんがわたしは大好きです。

倉敷市立第五福田小学校 第五学年 藤内 菜々さん

## ぼくのお母さん

ぼくのお母さんはとても心配症です。学校に行く時や遊びに行く時、外出する時は必ず玄関や外まで送ってくれて「気をつけていってきなさいよ。」「車には気をつけて。」「と、言ってくれます。なのでぼくの家族は大きなケガをしたことはありません。お母さんの言葉が家族を守ってくれているのだとぼくは思っています。今日もケガなく一日が終わりぼくのお母さんは平和な日々を送っています。

〔補足説明〕

ぼくのお母さんがこんなに心配症なのは理由があります。ぼくのおじいちゃんが交通事故で亡くなったからです。前の日には、元氣だった人でも次の日には何が起るかわからない。だからとても大事にしようと思つています。

浅口市立金光小学校 第六学年 友原 諒人さん

## うれしかった

私は、そろばん一級に合格した。合格できたのは、そろばん教室の先生はもちろん、お母さんのおかげだった。家で一生けん命練習をしていたら合格点が取れるようになってきた。私は、後はそろばん教室だけで練習をしていけば合格できると思つて家ではやらなくなつた。そしたら合格点がとれなくなつてしまった。するとお母さんが、「家で一〇分だけでもいいから毎日練習をきなさい。」と言つた。それから毎日続けていくと合格点が取れるようになってきた。試験でも合格できた。お母さんの一言がなかったら合格できていなかったと思う。合格できて本当にうれしかった。

浅口市立金光小学校 第六学年 福武 由起さん

## あつちひ

私は毎日あいさつをしています。どんなときでもあいさつをします。例えばこんにちはがありました。ある日の五時ごろ、私とお母さんはロゲンカをしていました。私はもうしゃべりたくなかったので、すぐ寝ました。そして、ある日の朝、お母さんが元気におはようと言ってくれました。私は正直したくなかったけどおはようと小さな声で言いました。それからなぜか二人とも笑ってしまいました。すっきりして気持ちよかったです。これからもあいさつして気持ちよく生活したいです。



久米南町立神目小学校 第八学年 藤原 優希さん

## わすれないおんぶ

私は、二年生になるまでよくおんぶをしてもらっていました。じらけて夜ないてしまったとき、おんぶしてもらって、まごから見える、夜景をよく見ていました。くもが一つもなく、たくさん星がかがやっていた夜空は、今でもわすれていません。今では、よく妹におんぶをしてあげています。おんぶは、私にとっての大切なものです。

美作市立美作北小学校 第八学年 佐藤 玲菜さん

## 優しい嘘を

母がおくれて帰って来る日のことです。私と父は母の帰りを待っていました。突然、父が「何か、作ってみ？」と言いはじめました。「へ？」今まで料理はほとんど母に任せていた私はぼう然としました。でも、いつも母に任せているのは悪いと思ひ、みそ汁を作ることにしました。一人だと、少しあわてましたが、何とかみそ汁らしい物を作りました。味見してみると、驚きました。味がうすいのです。母と父に出すのが急に恥ずかしくなりました。でも、帰って来た母と父は一口飲んで「ええくらい味の味ががん。」と言ってくれました。それに、嫌な顔いっさいせず、完食してくれました。「嘘じゃろ。」と私が言っても「いや、これがええんじや。」また、作ってな。」と言ってくれました。とても心が温かくなりました。だから、その日作ってくれた母のおいしい料理は決して残さず、笑顔で完食しました。これからもそうしていききたいと、心から思いました。

美作市立作東中学校 第一学年 岩本 美咲さん

## 母の応援

私は小学生の時にソフトボール、中学のときに吹奏楽をやっていました。ソフトボールは試合、吹奏楽も演奏会などが多くあります。私の母はそういう行事にほぼ毎回きてくれます。元々仕事で休みのときもありますが、ほとんどわざわざ休みをとって見に来てくれます。そして私が家に帰ると必ず「おつかれ様。」や「よかったよ。」などと声をかけてくれます。中学校三年生のときの定期演奏会では大きな花束をもらいました。更にその中にメッセージカードが入っていました。そしてそこには「三年間おつかれ様。よく頑張りました。」と書かれています。その文章を読んで私は本当に部活を続けてこれたので、良い演奏をして母に感謝の気持ちを感じようと思います。高校でも吹奏楽に入ったので、良い演奏をして母に感謝の気持ちを伝えようと思います。いつも応援してくれてありがとうございます。

県立井原高等学校 第一学年 森澤 奈月さん

## 手紙

私は、中学一年生の二学期べらういから、友達と人間関係がうまくいかないことが増えて、悩むようになりました。中二の三学期に仲良くしてくれてくれた友達とケンカして、帰るとお母さんに怒りをぶつけていました。すると、ある日机に手紙が置いてありました。それは、優しく私の駄目なところや「こうできたらいいよね。」とか、「笑顔でいよう。」などと書かれていた、いつもはうるさいなと思ってしまってお母さんからもらった手紙でした。これを読んで泣きそうになりました。そして、怒っていた自分が情けなくなりました。これをきっかけに時間はかかったけど、友達と仲直りできました。私はこの手紙をもらって改めてお母さんの優しさ、母親の存在の大きさ、愛情を感じました。お母さん、ありがとうございます！

県立瀬戸南高等学校 第一学年 小谷 清美さん

## 母がいない半月間

今年の夏休みは母が半月ほど入院しています。母が入院している間に、家のことは全て任せました。母が毎日している洗濯や炊事や掃除を、初めて一人で全てしました。洗濯物はシミとかをとらないといけなし、白いものと黒いものに分けて洗濯をしているので二度、洗って干して、たたむという作業をしました。干す時にはしわにならないように干さなくてはいけないので、洗って干して、たたむまでがとても疲れました。炊事は父のご飯も作らないといけなし、チャーハンを作るだけでも、ご飯の量が多くて力を使いました。これをする、母は毎日三人のご飯を作っていることに驚き、毎日三人分の量の洗濯をしているのだと、その大変さに気が付きました。私の家はどっちかっという亭主関白なのですが、いつもは絶対にしらない父が、皿洗いを隠れてしてくれていたことに吃驚（びつくり）しました。家族は支え合うものなんだなと感じ、いつも頑張ってくれていた母に感謝しました。

県立瀬戸南高等学校 第一学年 尾森 南々さん

## 夕食

私の家では、毎日家族揃って夕食を食べる。そうしようと決めている訳ではないが、それが当たり前になってきている。しかしある日、減多に出張などない父が出張に行った。その日は母と二人きりの夕食だった。母と「今頃お父さんは何を食べているかな？」と他愛のない話をたくさんした。しかしおいしいはずの夕食は、なんだか味気なかった。父がいないというだけでとても寂しかった。その日私は、家族揃って食事をするこの大切さを知った。何気なくでも、家族揃って夕食を食べられる私はきつと幸せ者だ。こういう小さなことでも、できていることに感謝の気持ちを伝えたい。

県立興陽高等学校 第二学年 上野 愛奈さん

## せまい食卓

我が家は最近ではめずらしい、八人の大家族です。大正生まれの曾祖母、昭和生まれの祖父、祖母、父、母、平成生まれの兄、私、弟の八人です。私には一つ悩みがあります。それは食卓が狭いこと。一度に八人座り、その分の量のごはんが並ぶととても狭く感じます。けれど誰かが出かけていたり、病気で休んでいていなかったりすると、広くなるのだけど、なんだかさみしく感じます。食卓は狭くなるけどやはり、八人で一緒にごはんを食べることがいいのだなと思えました。私の幸せな、わがままな悩みなのでした。

県立井原高等学校 第二学年 岡田 幸恵さん

## 寝たふり

私は父と話をするのが嫌で夜はいつも父の話を寝たふりをして無視していました。それが当たり前でした。ですがそんなある夜のことです。いつものように私は寝たふりをして父の話を無視していました。すると父が「かわいいなあ。」「大きくなったなあ。」「大きい、そっと私の頭をなでました。私はその時、この家の子に生まれて本当に幸せだと感じました。」

県立興陽高等学校 第二学年 楢村 咲百合さん

## 一七年間の足跡

僕は一七年間という短い間に両親にたくさん心配を掛けてきた。生まれてすぐに病院に運ばれ、生まれた時から心配を掛けさせてしまった。そして今までも数えきれないほど心配を掛けさせてしまった。特に中学の時にバトミントン部に入ろうとしたが、両親や医師に止められた。が、僕は無理を通して入部した。入部当初はとても心配されたが両親に支えられ無事部活を終えることができた。今まで何をすることも両親に支えられ、一人歩きをすることが出来なかったが、一七年間歩いてきた中で両親のお陰で様々な経験をすることができ、今では少しずつ一人で歩いて行けるようになったと思う。そして一人で歩けるようになったときは、今度は僕が両親を支えていきたい。

〔補足説明〕 病気は心臓に関する病気です。

県立倉敷工業高等学校 第三学年 多田 隼人さん

# 一般の部



◆これからも子育て楽しみま賞◆

思わぬ出来事

毎年、母の日に重なる町内一斉溝掃除。我が家からは私が参加。終了時間は昼十二時過ぎでした。かなりの重労働です。「座の間もなく昼ご飯の用意だなあー。」と思いつつ帰宅しました。玄関に入ったらずい目の前には、下の息子（当時五年生）が立っていました。「かあさんお帰り・・・疲れたろーご飯食べねえ。」と椅子を引いてくれ、目の前に用意されたのは、家庭科で習ったばかりという野菜いためとおにぎりでした。形も、大きさもバラバラの物でしたがうれしさいっぱいでした。とってもおいしかったです。息子も十二歳、少しづつ反抗期に・・・でも心の根っこは、とっても素直でやさしい子です。体と心の成長を見守りながら、そして、子育てを楽しみながら、日々を過ごしていきたいと思います。

倉敷市 稲岡 勝美さん

審査員より

お子さんからのうれしい不意打ち。お母さんを思うお子さんの気持ちが入ったおにぎりは、どんな高級料理よりもおいしいごはんだったことだと思います。

## ステキなプレゼント

私には、学校の事を聞いても返事をしなかったり、何も教えてくれないまっ黒けっけの小学六年生の長男と、話を聞いているようで聞いてなく、じっとすることができない小学三年生の次男と、お兄ちゃん達と同じ事が出来ると思ってる負けず嫌いの保育園年中の三男の息子達がいまです。いつもけんかばかりで、私は毎日怒ってはかりです。そんな息子達が私の誕生日にステキなプレゼントをくれました。三男が「かあかん、たんじょうびおめでとう。」と手紙をくれました。三男はまだ字が書けないので長男が代わりに書いてくれました。次男は、外でかわいいた花を摘んできて花束を作ってくれていました。最高のプレゼントで本当にうれしくて涙があふれました。ありがとうございます。

鏡野町 奥 典永さん

## わたしのたからもの

「わたしのたからものは、（ ）です。」国語のワークブックで、自分の宝物を答える問題がありました。「ぼくの宝物はね、かぞく。だつてそつでしょ？」当たり前のように答える息子に、我が子ながらびつくりしました。数日後、たまたま息子の国語のノートを見てみると、授業で作文を書いていました。題は「わたしのたからもの」。「わたしのたからものは、くつです。」「どの靴のことかはすぐに分かりました。」「おかあさんが買ってくれました。色はくろです。はきやすいです。やさしいおかあさんが大すきです。」「時間に追われ、つい口うるさく言うのは反省、のへつ返して、」「やさしいおかあさん」には程遠い毎日なのに。鬼の目にも涙でした。

津山市 豊岡 慶子さん

◆特別賞◆

★ 優秀学校賞

(学校ぐるみでの取組に対して)

津山市立阿波小学校

美作市立美作北小学校



わが家を振り返って、エピソードをメモしておきましょう。

A decorative rectangular frame with a border of stars and hexagons. Inside the frame are six vertical dotted lines for writing.

わが家を振り返って、エピソードをメモしておきましょう。

A decorative rectangular frame with a repeating pattern of stars and hexagons. Inside the frame, there are five horizontal dotted lines for writing.

わが家を振り返って、エピソードをメモしておきましょう。

A decorative rectangular frame with a repeating pattern of stars and hexagons. Inside the frame, there are five horizontal dotted lines for writing.

発行・監修



岡山県「はっちり！モグモグ」生活リズム向上  
マスコットキャラクター

おかやま子ども応援推進委員会  
地域家庭教育推進部会

事務局 >>> 岡山県教育庁生涯学習課

〒700-8570 岡山市北区内山下 2-4-6

TEL (086) 226-7597



岡山県教育庁生涯学習課のホームページから、この冊子をダウンロードすることができます。



ホームページ 岡山県 生涯学習課 で 検索 クリック！